

大寒に入りて二日目午前四時

猫鳴く声は雪の中より

(R)

一番寒い頃に・・・

小中学生の頃の長期休業は、春休み、夏休み、お正月休みの他に寒休みがこの時期二週間程ありました。(他に田植休み・稲刈り休みがあったと云う人もいます。) 先生は「学校で勉強できない代りに家で勉強なさい。」とおっしゃっていましたが、子ども達にとっては一番の休みでした。吹雪の中の登下校も無い。吹雪のスキー練習も無い。なにより家の中には母がいて、あやとりや編み物、縫物を習い、お喋りし、一緒に『どんどん焼き』を作ったことを覚えています。休み明けはまだまだ寒い日が続きますが、春がぐんと近づく感じでした。母たちは玄関先に五々六段の雪の階段を作り、雪の道をつけていました。子ども達はスキーをしたりスコップで落とし穴(どんぶら)を掘ったり、家やお店をこしらえ、頬つぺたや耳、手足にしもやけをつくりながら雪遊びしました。

昔は道路が子どもたちの遊び場でした。中でも滑り下駄の話は、実に楽しい思い出とたくさんのお母さん方から笑顔と共にかがいます。「今の中学校の坂を神部歯医者さんのカーブの所まで、転ばないで滑ったものよ。」「男の子はスケート、女の子は滑り下駄で遊んだもの。」「滑り下駄(爪掛けの下駄の底に竹を貼った物)を履いて風を切って格好よく滑る女の子は、みんなの憧れの的でした。昭和三十年代まで冬は郵便物や荷物を櫛で運ぶなど道はにぎやかで楽しい場所でした。・・・」

款冬華さく(ふきのとうはなさく)

1月20日～1月24日頃

今年の大寒は穏やかな日々。昨年続き宮城県涌谷町から中学生25名が高齢者宅の除雪ボランティアにと2日間滞在し、4軒の雪を片付けました。身長よりも高い雪の壁に圧倒され興奮している。休憩時間には柔らかな雪に飛び込み大はしゃぎ。白鷺地区のおばあちゃんとの温かい交流の一日。来年も…(木精)

水沢腹く堅し(みずさわあつくかたし)

1月25日～1月29日頃

寒中に野外で凍らせるもののひとつに凍み大根があります。ゆでてからくさみをとるため水に漬け置き、寒風にさらします。にしん、さつま揚げ等と煮しめにさせていただきます。

今の時代、何でもスーパーで売っているけど、手作りならではのおいしさがしみわたります。(と)

鶏始めて乳す(にわとりはじめてにゆうす)

1月30日～2月3日頃

家中の窓を開け母がきれいな包みの飴や菓子を豆に混ぜ、父が「天福地福鬼は外福は内」とまく後から沢山拾おうと姉弟大騒ぎ。年の数だけ豆を食べ健康を祈る両親より、おいしい飴や菓子に夢中だった。物の豊かな現在とは程遠い幼き日の楽しかった思い出のひとつである。(U)



2015.1 黒滝の方から

読書会だより ⑫

大石田の大寒のころ

七十二候より

大石田町立図書館

一週間降り続ける雪も大石田だったらありそうです。その合間に見える雪晴れは、それは見事に美しく、清々とした気持ちになります。穢れのない真っ白な雪、青空、太陽、きらきらと輝いています。また夜の雪明りも不思議な明るさです。